

社長の実行力を★ 思い切り高める法



積極型社長へメッセージ

会社自体は固定給なしの完全な歩合給で運営されており、しかもゴルフや囲碁のようにハンディはありません。さらに資金繰りが悪くなっても、銀行も政府も助けてはくれません。

こうした実力主義の世界にあっては、社長自身の実行力を思い切り高めなければ業績を良くすることはできないのです。このビデオとDVDは、社長の実行力の高め方について、辛口ながらズバリ説明していますから、必ず役に立ちます。

1. 実行力が決まる公式をはっきりさせる

社長の実行力を思い切り高め、仕事がバリバリ片付けられるようになるにはまず初めに、**実行力はどのような要因**で決まるか、これをはっきりさせておく必要があります。

その実行力は、**仕事時間²×質**で決まります。これはエネルギーの法則と同じです。つまり実行力とは人々が発揮するエネルギーになるのですね。

これを微分すると実行力は、**仕事時間が70%で、質は30%の比率**で決まることが分かります。

2. まず仕事時間量の拡大から始める

実行力を高めるには「**仕事の質**」を高めればいいのですが、質を高めるには「**そのこと自体**」に**大量の研究時間が必要**になります。

そこで実際に実行力を高めて成果を出すには、仕事時間量を多くすることから始めるのが、正しいやり方になります。仕事時間量を多くし、しかも長続きさせるには仕事時間に具体的な「**数値目標**」が必要になります。

3. 時間戦略の実行は朝型で

必勝や圧勝の時間戦略を実行してより多くの成果を出すには、**朝型が有利**です。小売業や飲食業は別に

して、朝7時30分迄の出勤は成功の第1歩になります。

朝は集中できるばかりか良い知恵も出るようになります。さらに社長の朝が早くなると「**社員の出勤時間**」も徐々に早くなってきますから、会社全体の実行力がグンと高まります。

4. 質を高める手順をマスターする

実行力を高める2番目は、質を高めることになります。質を高めるには、まず社長が担当している**仕事の質の、構成要因**をはっきりさせる必要があります。

次は質を構成している大事な要因1つ1つの、**ウエイト付**をしなければなりません。

そのあと、どうすれば質を高めることができるか質の高め方を考えます。こうすると正しい方法で研究が進められますから、時間とともに質のレベルが高まるのです。

5. 実行力が2倍～3倍高まる

仕事時間が多くなり、質も高まると**実行力が2倍3倍と強くなります**から、仕事がバリバリできるようになるばかりか、業績も良くなるのです。

このビデオはこれらのやり方を従業員100人以下の**社長に焦点**を当て、しかも解りやすく説明していますから必ず役に立ちます。